

様式第2号(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		令和3年度 第2回川島町小中一貫教育推進協議会
開 催 日 時		令和4年3月9日(水)午後3時~午後4時45分
開 催 場 所		川島町役場 2階中会議室
議 題		1 会議の公開について 2 会議録及び会議署名委員の指名について 3 川島町の小中一貫教育校の開校にむけて(まとめ)(案)について
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	【1号委員】菊地 昭男 【2号委員】関口敬氏、柳澤睦夫、新井 馨、藤田由美子、市川俊実、忍田壽生 沼田美穂、武川裕己子、森田大輔、山崎寛幸、青柳陽亮、佐藤優也 【4号委員】木村敏光、永島 智 【5号委員】天宮 弘、小林紀子
	事務局職員	中村教育長、石川教育総務課長、小久保生涯学習課長、鎌田指導主事 今井教育長職務代理者、磯教育委員、猪鼻教育委員 松本教育総務課主幹
配 布 資 料		・川島町の小中一貫教育校の開校にむけて(まとめ)(案)
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 中村教育長(川島町教育委員会 教育長) 柳澤会長(川島町小中一貫教育推進協議会会長 伊草小学校校長)</p> <p>3 議事</p> <p>1. 会議の公開について 公開することに決定した。</p> <p>2. 会議録及び署名委員の氏名について 関口敬氏委員(2号委員)と永島 智委員(4号委員)の2人に決定した。</p> <p>3. 川島町の小中一貫教育校の開校にむけて(まとめ)(案)について報告 令和3年度に川島町小中一貫教育推進協議会専門部会委員を中心に、今後の川島町の小中一貫教育校開校に向けての指針として作成した「川</p>		

島町の小中一貫教育校の開校にむけて(まとめ)(案)」について報告した。

報告後、学識経験者で坂戸市立城山学園の初代校長として、小中一貫教育校の開校に尽力された菊地昭男委員に、まとめ(案)に対する講評をいただいた。

#### 【学識経験者の講評】

- ・小中一貫校は、先生方が学校に行くのがワクワクするような学校にすることで、子供も楽しい学校になる。
- ・川島町は学校の先生と教育委員会が一つになって取り組んでいる。
- ・準備に携わった先生と新しく転入してきた先生との考え方の違いが大きいことには、苦勞する。
- ・小中一貫教育校の開校後は、とても意見交換が活発になる。臨機応変に対応すべきである。
- ・小中一貫と小中連携とは違いがある。視察はいいところしか見えない。小中一貫にはいろいろな問題が起こる。
- ・小学校1、2年生でも理科の授業をする、新しい教科を作るなど、特化した取組を行うとよい。
- ・多目的室のように、まとめられる部屋があると便利である。
- ・教職員を、どのように兼務させるのか、十分検討する必要がある。
- ・小学校4年生まではにぎやかなので、中学生の施設とは、距離を離れた方がよい。
- ・理科は専門的な先生の指導により充実した指導が行われ、学力が向上した。
- ・中学校教員が小学校教員の授業に入ることはとても良い取り組みだと思ふ。週一回でも中学校教員が小学校の授業に入ってくれれば、授業展開で困った際、その場ですぐに専門的な知識をもらえる。
- ・中学校教員に国語の1単元を持ってもらうなど、中学校教員の専門性を生かした取り組みを行いたい。
- ・道徳の授業は、小学校教員の方が上手である。道徳の指導方法に悩む中学校教員が見に行くことで、授業力を高められる。
- ・中期となる6年生の子供たちの活躍の場がなくなるのは事実である。できるだけ中学生と同じ扱いにしてあげることで、自尊感情が高まる。運動会の応援合戦は、6年生が中心となって活躍できるように配慮した。

#### 【質疑】

委員：小中一貫教育への取組の成果はどのようなものがありますか。

事務局：中1ギャップの解消や小中学校教員の交流などがあります。

委員：小中一貫教育への取組の課題はどのようなものがありますか。

事務局：小中学校教員の意思統一が大切です。

#### 【委員による意見】

- ・教育課程の小学校から中学校への接合が不安だが、大きなステップを少しずつ上がっていけるのが魅力だと思う。
- ・先生たちの働く環境が、子供たちの学習環境に影響します。働きやすい環境づくりをしてほしいです。
- ・令和7年度が目標であるということを明確にすることで、町民への理解が




進むと思います。

- ・明るさを十分配慮した教室の配置をお願いしたいです。また、小中一貫教育校のキャッチフレーズを作成することで、町民への周知の際には効果的だと思います。
- ・地域やPTAとの連携・協力し、教員の立場で全力で取り組んでいきたいです。
- ・統合へ向けて、みんなの思いが一つになってまとまるとよい。
- ・小中一貫教育校として取り組むことはよく分かります。先生方が負担を配慮しながら、進めることが重要だと思います。

4 閉 会

市川副会長（川島町小中一貫教育推進協議会副会長 川島中学校校長）

署 名	関口 敬氏 
	川島 智 